

## 資料 8 研究業績（論文・総説等）

開原成允.医療情報システムの今後 - 薬剤業務に関連して - .病院薬学 15(5):319-325、1989

折井孝男、大江和彦、開原成允、大橋靖雄.大学医療情報ネットワークの目指すもの - 医学・医療のすべてを含むネットワークを展望.新医療 7月号:73、1990

折井孝男、中村幸一、伊賀立二、中川富士雄、開原成允.大学医療情報ネットワークにおける薬剤情報の提供とその設計.医療情報学.10(2):189、1990

開原成允、櫻井恒太郎、折井孝男、大江和彦.大学医療情報ネットワーク.ファルマシア 26(10):1018-1022、1990

折井孝男、中村幸一、伊賀立二、中川富士雄、開原成允.病院薬剤部間ネットワークシステムへの展望 大学医療情報ネットワーク.月刊薬事 32(6):1143-1148、1990

折井孝男、開原成允.ネットワークシステムとしての利用.別冊医療とコンピュータ 薬剤情報とコンピュータ p.7-14、1990

折井孝男、開原成允.大学医療情報ネットワーク.日本薬剤師会雑誌 42(9):1085-1096、1990

折井孝男、伊賀立二、開原成允.医療における薬剤情報管理 / 大学医療情報ネットワークで提供する薬剤情報管理 - .病院管理 28(4):49-54、1991

折井孝男、伊賀立二.大学医療情報ネットワーク.医学のあゆみ 153:172、1991

Sakurai T, Hisashige A, Ohe K, Kaihara S. Current Status of Medical Informatics and Technology Assessment 505-508. Assessment of Medical Informatics Technology ENSP Editeur, Fennes, France, 1991

大江和彦. 大学医療情報ネットワークを活用する. PC Doctors、 Vol.2(1)、 4、 1992

Kaihara S、 Ohe K、 Sakurai T、 Kiuchi T. HIS and Research. Hospital Information Systems: Scope-Design-Architecture、 A.R. Bakker et al. (eds)、 Elsevier Science Publishers B.V.(North-Holland)、 97-101、 1992

古川裕之、市村藤雄.大学医療情報ネットワーク (UMIN).金沢大学総合情報処理センター  
広報 ( K U I P C )、 16:89-95、 1992

開原成允.医療情報システムの現状と問題点 大学医療情報ネットワーク (UMIN).医科器  
械学 62(9):446-448、 1992

(分担執筆)折井孝男、伊賀立二.パソコンによる薬剤ネットワークシステム.パソコンの診  
療への応用.稲田 紘編、中山書店、 1992

櫻井恒太郎、大江和彦、長瀬淑子、開原成允. 大学医療情報ネットワーク (UMIN)におけ  
る電子メールと B B S の利用. 情報システム 41:1-4、 1992

Sakurai T. University Medical Information Network (UMIN). Proceedings of the 7th  
Scientific Meeting of the Korean Society of Medical Informatics p 3-6,1993.

折井孝男、伊賀立二、開原成允.患者へのマルチメディアを利用した薬剤情報提供システム.  
病院管理 30(1):39-43、 1993

西村久雄、小村直之男、岩本喜久生、古川裕之、市村藤雄、折井孝男、伊賀立二、櫻井恒  
太郎、開原成允、片桐義博.大学医療情報ネットワークを利用した薬剤情報の共同利用の検  
討.病院薬学、 19(3):248-254、 1993

櫻井恒太郎、開原成允. 大学医療情報ネットワーク. 医科学大事典：最新の医療情報 (講談  
社) p230-233、 1993

折井孝男、伊賀立二、櫻井恒太郎、開原成允.医療情報とパソコン通信ネットの活用 大学医  
療情報ネットワーク.月刊薬事、 35(9):1847-1853、 1993

大江和彦. 大学医療情報ネットワーク : UMIN. bit 別冊 インターネットの使い方.188-191、1994

折井孝男、伊賀立二.病院内における副作用発見のためのシステム化.呼吸 13(7):686-690、1994

西村久雄、川端奈緒美、平野栄作、岩本喜久生、折井孝男、伊賀立二.大学医療情報ネットワーク情報のパーソナルコンピュータによる利用 .日本病院薬剤師会雑誌 30(10):1167-1170、1994

(分担執筆)折井孝男、伊賀立二.情報活動へのコンピュータの利用.p.304-308、医療薬学.堀了平、北澤式文、奥村勝彦、横山照由編、廣川書店、1994

Ohe K, Kaihara S, Ishikawa KB, Hishiki T, Nagase T, Sakurai T. Hospital Information system and the Internet. K.Chon (ed)、 Proceedings of the International Networking Conference INET'95、 1033-1036、 Internet Society、 1995

石川光一、伊野宮興志、大江和彦、柏木公一、木内貴弘、小出大介、日紫喜光良. 医師・医療従事者のためのインターネット. 中山書店、 1995

大江和彦、桜井恒太郎. 情報交換の手段としての活用. 臨床教育マニュアル 282-291、1995

折井孝男、伊賀立二.医薬品データベースの基本構造 - 病院におけるコンピュータの利用を中心に -.臨床と薬物療法 14:629-633、1995

弟子丸恵実、鶴田 聡、富樫秀夫、青木浩二、中野眞帆.UNIX分散システムによる医薬品情報の提供.病院薬学 21(6):511-518、1995

Kiuchi T, Kaihara S. C-HTTP -- The Development of a secure、 closed HTTP-based network on the Internet. Proceedings of the Internet Society Symposium on Network and Distributed System Security. IEEE Computer Society Press. 64-75、 1996

大江和彦. 病院情報システムにおけるインターネット利用環境. 新医療、 7:36-39、 1996

木内貴弘. 臨床研究の質について --- 研究デザインの側面から. NO 研究の基礎と臨床,2:3-7, 1996

木内貴弘. 臨床研究の計画、遂行とデータ解析におけるコンピュータ支援. 救急医学、 20:941-945、 1996

Kiuchi T、 Ohashi Y、 Konishi M、 Bandai Y、 Kosuge T、 Kakizoe T. A World Wide Web-based user interface for a data management system for use in multi-institutional clinical trials - Development and experimental operation of an automated patient registration and random allocation system. Controlled Clinical Trials. 17:476-493、 1996

Kiuchi T、 Kaihara S. Automated generation of a World Wide Web-based data entry and check program for medical applications. Computer Methods and Programs in Biomedicine.52:129-138、 1996

古川裕之、市村藤雄.薬物間相互作用に関する自動チェックシステムの問題点とその解決策. 月刊薬事、 38(3):811-818、 1996

折井孝男、伊賀立二、開原成允.中毒情報システム.内科 75(6):1456-1457、 1996

折井孝男、伊賀立二.「食中毒」と取り組む前に 中毒情報システム / 大学医療情報ネットワークで提供する中毒情報システム.治療 78(7):2555-2560、 1996

折井孝男、櫻井恒太郎、伊賀立二、開原成允.大学医療情報ネットワーク University Medical Information Network (UMIN) .調剤と情報 2(6):688-691、 1996

佐藤 均、佐藤里美、堀越 勇.医薬品情報解析 検索システム MacDrug による大学医療情報ネットワーク (UMIN) データベースの利用.医療とコンピュータ 7(4):438-440、 1996

木内貴弘. 大学医療情報ネットワークの提供する WWW による情報サービス. 医学のあゆみ.180:399-403、1997

木内貴弘. 学術情報とインターネット. 医療とコンピュータ. 8:18-21、1997

木内貴弘. 大学医療情報ネットワーク(UMIN)活用のすすめ. 実験医学. 15:570-571、1997

折井孝男、伊賀立二.医療情報システムとデータベース.ファルマシア 33(2):171-176、1997

Yamakami H、Kiuchi T、Nagase T、Ohe K、Kaiharu S、Sakurai T. Development and Trial Operation of a World Wide Web-based Data Entry System for the Collection of Statistical Data on the Management of the National University Hospitals in Japan. Medical Informatics. 23:19-29、1998

木内貴弘. 大学医療情報ネットワーク ( UMIN ) 活用ガイド.実験医学.16:1304-6、1998

木内貴弘 . セキュリティの考え方と方法.INNERVISION. 13(8):62-5、1998

古川裕之、市村藤雄.薬物間相互作用回避のための医療従事者への医薬品情報提供のノウハウ / 大学病院における医薬品情報提供 ( 2 ) 金沢大学医学部附属病院.薬局 49(1):160-168、1998

( 分担執筆 ) 折井孝男、伊賀立二.薬剤情報サービス.医療情報学第 3 巻 p.316-319、日本医療情報学会 / Net Work、1998

( 分担執筆 ) 古川裕之、旭 満里子、市村藤雄.医薬品情報を利用して見せる / ケースレポート ( 6 ) .これからの薬剤情報 あつめ方、よみ方、つたえ方 p.130-138 折井孝男編 、中山書店、1998

古川裕之、市村藤雄.新しい添付文書をいかに活用するか / 病院薬剤師の立場から.薬局 49(8):1507-1515、1998

古川裕之.大学医療情報ネットワーク (UMIN) / 医療フィールドにおける諸問題解決への新たなアプローチ.月刊薬事、40(11):2545-2548、1998

Kiuchi T、 Ohe K、 Ohashi Y、 Sakurai T、 Kaihara S. University Medical Information Network - Past、 Present、 and Future.MEDINFO 98. IOS press 420-24, 1998

Kiuchi T、 Ohe K、 Kaihara S. Using a WWW-based mail user agent for secure electronic mail service for medical users. Methods of Information in Medicine.37:247-53, 1998

木内貴弘. 大学医療情報ネットワーク(UMIN)について.臨床医 25(4):423, 1999

川井絵美、古川裕之、旭 満里子、松下 良、市村藤雄.治験薬有害事象に関する標準的情報網目の検討.病院薬学 25(2):196-203, 1999

折井孝男、伊賀立二、古川裕之、市村藤雄. これからの薬剤情報の利用について - インターネットを利用した薬剤情報の利用(その3)東京都病院薬剤師会雑誌 48(2):21-27, 1999

開原成允、劉志瑾、三谷比呂志、吉野信次、井上通敏、下山正徳、矢野右人、岩田敏、木内貴弘. 国立病院等総合情報ネットワーク (HOSPnet) を利用して多施設から臨床データを収集するためのシステムの開発. 医療 52:667-72, 1998

## 資料 9 研究業績（学会発表等）

### 1. 医療情報学連合大会

入江五朗、大槻昌夫、里村洋一、開原成允、大橋靖雄、山内一信、高橋隆、井上通敏、平川顕名、森忠三、北添康弘、野瀬善明、浅野正一郎、石田晴久. 国立大学病院医療情報ネットワーク構想とその設計. 第 8 回医療情報学連合大会論文集 p365、 1988

開原成允. 医療情報ネットワーク. 第 9 回医療情報学連合大会論文集 p17、 1990

荻野修、伊勢淳、番場和夫、相良悦郎、折井孝男、中村幸一、伊賀立二、中川富士雄、開原成允、中島新一郎、古川裕之、二橋純一、林英一、木邑道夫、門林宗男、苫野陽彦、西村久雄、見元尚、牧野和隆. 大学医療情報ネットワークにおける薬剤情報の提供とその設計. 第 9 回医療情報学連合大会論文集 p157、 1990

大江和彦、櫻井恒太郎. 大学医療情報ネットワーク(UMIN)の機能と現況. 第 10 回医療情報学連合大会論文集 p497、 1990

西村久雄、小村直之、片桐義博、岩本喜久生、折井孝男、伊賀立二、櫻井恒太郎、開原成允. 大瀧雅一、板野和央. 大学医療情報ネットワークによる ADMICS の提供の試み. 第 11 回医療情報学連合大会論文集 p601、 1991

市原和彦、貝元尚、田中照夫、西岡豊、三宮克彦、奥原義保、栗原幸男、北添康弘. UMIN を利用した医薬品情報参照システムの開発と評価. 第 13 回医療情報学連合大会論文集 p201、 1993

西村久雄、川端奈緒美、平野栄作、岩本喜久生、内田寛志、石原弘幸、折井孝男、伊賀立二. 注射医薬品の配合変化情報の検索システム. 第 13 回医療情報学連合大会論文集 p207、 1993

櫻井恒太郎、折井孝男、長瀬淑子、大江和彦、開原成允. 大学医療情報ネットワーク(UMIN) の利用状況と各大学病院接続形態の将来について. 第 13 回医療情報学連合大会論文集

p335、 1993

石川光一、櫻井恒太郎、折井孝男、大江和彦、長瀬淑子、開原成允. UMIN2 における標準的なプラットフォームの採用 - よりオープンな医療情報ネットワークの整備にむけて - 第 14 回医療情報学連合大会論文集 p351、 1994

開原成允、櫻井恒太郎、大江和彦、長瀬淑子. 日本のすべての医療関係者を連携する情報システム. 第 15 回医療情報学連合大会論文集 p159、 1995

櫻井恒太郎、折井孝男、大江和彦、長瀬淑子、開原成允. UMIN のインターネット接続への移行と各大学の利用環境について. 第 15 回医療情報学連合大会論文集 p469、 1995

下堂園権洋、村永文学、熊本一郎、下園拓郎、宇都由美子、本屋敏郎、山田勝士. WWW を利用した医薬品情報の検索と提供. 第 16 回医療情報学連合大会論文集 p162 - 163、 1996

櫻井恒太郎、木内貴弘、大江和彦、長瀬淑子、開原成允. FAX と WWW サーバを連携させた文書広報システム. 第 16 回医療情報学連合大会論文集 p498、 1996

木内貴弘、長瀬淑子、大江和彦、開原成允. UMIN3 設計と実装. 第 16 回医療情報学連合大会論文集 p500、 1996

山上浩志. 木内貴弘、長瀬淑子、大江和彦、開原成允. WWW による国立大学病院資料収集システムの開発と運用. 第 16 回医療情報学連合大会論文集 p502、 1996

木内貴弘、大江和彦、櫻井恒太郎. UMIN 次期システム(UMIN4)の概要. 第 17 回医療情報学連合大会論文集 p634、 1997

古川裕之、市村藤雄、伊賀立二、木内貴弘、櫻井恒太郎. 大学医療情報ネットワーク ( UMIN ) における薬剤情報データベース. 第 18 回医療情報学連合大会論文集 p36-37 , 1998

旭満里子、西上 潤、古川裕之、松下良、市村藤雄. 薬物療法上の問題解決のための情報収集システムの構築とその共同利用. 第 18 回医療情報学連合大会論文集 p98-99 , 1998



市橋卓司、木内貴弘、小林千太郎、山内一信.大量情報の HTML 化の方法について - 医薬品情報の場合. 第 18 回医療情報学連合大会論文集 p104-105 , 1998

木内貴弘、大江和彦、櫻井恒太郎.大学医療情報ネットワークにおける会員制ホームページサービスの運用. 第 18 回医療情報学連合大会論文集 p324、1998

## 2 . 国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム

開原成允. 国立大学病院医療情報ネットワーク. 昭和 62 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p47、 1988

渡邊亮一、開原成允、小島基之、折井孝男、中川富士雄. 薬価改定テーブルの共同利用の現状. 昭和 63 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p213、 1989

荻野修、伊勢淳、番場和夫、相良悦郎、折井孝男、中村幸一、伊賀立二、中川富士雄、開原成允、古川裕之、中島新一郎、二橋純一、林英一、木邑道夫、門林宗男、西村久雄、苫野陽彦、見元尚、牧野和隆. 国立大学医療情報ネットワークで提供する薬剤情報の調査. 平成元年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p151、 1990

熊谷功、阿部圭志、大槻昌夫、平賀旗夫. UMIN 接続に際しての学内ネットワークの利用. 平成元年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p187、 1990

西村久雄、小村直之、片桐義博、岩本喜久生、折井孝男、伊賀立二、櫻井恒太郎、開原成允. 大学医療情報ネットワークによる ADMICS の提供と今後の課題. 平成 3 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p131、 1992

折井孝男、伊賀立二、小島基之、櫻井恒太郎、開原成允. 大学医療情報ネットワーク薬剤部門小委員会の活動とその報告. 平成 3 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p135、 1992

津田光徳、高田孝広、渡辺一博、高倉良介、高田繁則、三井明、板倉康夫、宇田紀之. 三重大学医療情報ネットワークシステム. 平成 4 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p135、 1993

山下芳範、須藤正克、宇佐美敏男、安岡徹、国枝純子、中村考博、百田辰之、高山俊一、大谷考博. 福井医科大学における大学医療情報ネットワーク (UMIN) への接続と利用. 平成 5 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p40、 1994

奥原義保、北添康弘、栗原幸男、成田祐一、三宮克彦. 高知医科大学における UMIN 接続の運用と利用状況. 平成 5 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p47、 1994

折井孝男、澤田康文、中村幸一、内野克喜、伊賀立二. 医薬品情報の有効利用に関する一考察 - 医薬品情報は本当に有効利用されているか? -. 平成 5 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p178、 1994

西村久雄、川端奈緒美、平野栄作、岩本喜久生、原左紀夫、石原弘幸、折井孝男、伊賀立二. フロッピーディスクを用いた大学医療情報ネットワーク情報等の利用. 平成 5 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p201、 1994

山下芳範、須藤正克. 病院情報システムにおけるキャンパス情報ネットワークの活用. 平成 6 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p41、 1995

山本和子、笹川紀夫、笠井俊文、矢田重久、石原弘幸、原佐紀夫、小村修一、荒木卓、沖田修治、内田寛志、宮本武志、遠藤恵子、梶谷弘美、西村久雄、野津吉友. 島根医大病院情

報システムとキャンパス LAN. 平成 6 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p43、 1996

石田達樹、日合三雄、数井進、深松順一、中山正雄、林隆一. 富山医薬大における UMIN 接続 - その問題点と対策. 平成 6 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p49、 1996

羽柴正夫、松戸隆之、富樫信安、坂田繁雄、加藤雄司、清野暁. 学内 LAN を経由した UMIN 接続システムへの変更. 平成 7 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p90、 1996

神田幸蔵、井手順子、島田直美. 九州大学医学部附属病院の情報ネットワークの利用状況について. 平成 7 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p107、 1996

西村久雄、川端奈緒美、平野栄作、岩本喜久生、古川裕之、市村藤雄、東海林徹、仲川義人、折井孝男、伊賀立二. 大学医療情報ネットワークにおける注射医薬品配合変化情報の収集. 平成 7 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p129、 1996

下堂園権洋、下園拓郎、本屋敏郎、山田勝士、村永文学、宇都由美子、熊本一朗. D I 業務の変遷とインターネットへの展開. 平成 7 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p139、 1996

高田彰、長瀬啓介、廣瀬和幸、山本敏雄、杉下靖郎. UMIN 利用環境の整備について. 平成 8 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p27、 1997

山上浩志、木内貴弘、長瀬淑子、大江和彦、開原成允、櫻井恒太郎. 病院資料収集システムの試験運用とその評価. 平成 8 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p65、 1997

古川裕之、前田大蔵、松下良、旭満里子、中島恵美、市村藤雄、分校久志、佐藤保、西村久雄、岩本喜久生、折井孝男、伊賀立二、木内貴弘、開原成允. UMIN3 による薬剤情報の提供 / 服薬指導データベース. 平成 8 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p73、 1997

杉山 正、安田浩二、安田公夫、片桐義博. 服薬指導における医薬品情報の有効利用. 平成 8 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p.81-84、 1997

山上浩志、木内貴弘、大江和彦. UMIN 暗号化電子メールサービスの概要. 平成 9 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p72、 1997

西村久雄、川端奈緒美、平野栄作、岩本喜久生、古川裕之、市村藤雄、伊賀立二、木内貴弘、櫻井恒太郎、大江和彦. UMIN における注射医薬品配合変化情報収集の提案. 平成 9 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p144、 1997

後藤伸之、八田壽夫、中村敏明、木村嘉明、脇屋義文、政田幹夫、山下芳範、下条文武. 全国国立大学病院薬剤部実務担当者会議におけるインターネットの利用. 平成 9 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p146、 1997

古川裕之、市村藤雄、伊賀立二、櫻井恒太郎、木内貴弘、大江和彦. 治験薬に関する標準情報項目の提案. 平成 9 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p155、 1997

古川裕之、市村藤雄、土屋文人、折井孝男、伊賀立二、木内貴弘. 添付文書情報の電子化における問題点の分析と解決への提案. 第 17 回医療情報学連合大会論文集 p.296-297、 1997

美代賢吾、森田敏子、山上富代、伊東久恵、木内貴弘. UMIN3 における香川医科大学附属病院標準看護計画 HTML 版の開発. 平成 9 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会

議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p296、 1997

下堂園権洋、若松弘文、本屋敏郎、山田勝士.血液製剤管理システムの開発に向けて.平成 9 年度国立大学附属病院医療情報処理部門会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p121 - 124、1998

折井孝男、古川裕之、市村藤雄、荻野 修、宮崎勝巳、中島克佳、青山隆夫、中村幸一、佐藤 均、伊賀立二.処方剤形別調査に関する諸問題.平成 9 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p.150-153、1998

古川裕之、荻野修、東海林徹、青山隆夫、鈴木正彦、後藤伸之、西村久雄、石本敬三、市原和彦、下堂園権洋、市村藤雄、伊賀立二、折井孝男、神谷晃、中島新一郎、西岡豊、木内貴弘、櫻井恒太郎. 大学医療情報ネットワーク (UMIN) で利用可能な薬剤情報データベースと今後の課題. 平成 10 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p.36-39、1999

山下理恵、手島みどり、内田豊、國本昌生、松岡加津子、石本敬三、神谷晃. 中毒情報提供システムの概要と利用状況 p40-41、1999

西上潤、旭満理子、古川裕之、松下良、市村藤雄、分校久志、佐藤保. 薬物療法で発生する問題点解決のためのデータベース構築. 平成 10 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p.42-45、1999

内海正紀、渡辺明弘、樋口徹、羽柴正夫、平原山人、石田修. 新潟大学医学部附属病院における物品管理システムの導入について. 平成 10 年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議医療情報システムシンポジウム演題論文集 p.257-260、1999

### **3 . 国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュースレター**

国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュースレター

医療情報ネットワークの調査.国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュースレター No.6:4、1987

医療情報ネットワーク実現に向けて - 医療情報ネットワーク準備委員会報告 その1.国立  
大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュースレターNo.7:5、1988

医療情報ネットワーク実現に向けて - 医療情報ネットワーク準備委員会報告 その2.国立  
大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュースレターNo.8:8、1989

大学医療情報ネットワーク(UMIN).国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュー  
スレターNo.10:13、1990

UMIN 要覧.国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュースレターNo.10:17、1990

2年目を迎えた UMIN -大学医療情報ネットワーク現状報告.国立大学附属病院医療情報  
処理部門連絡会議ニュースレターNo.11:12、1991

UMIN 運営委員会議事録、UMIN の使い方、UMIN の Q&A.国立大学附属病院医療情報処  
理部門連絡会議ニュースレターNo.11:14、1991

医療情報ネットワーク (UMIN) .国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュー  
スレターNo.12:20、1991

医療情報ネットワーク (UMIN) 事務局より.国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会  
議ニュースレターNo.13:13、1992

医療情報ネットワーク (UMIN) .国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュー  
スレターNo.14:17、1992

「標準仕様委員会について」.国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュー  
スレターNo.15:3、1993

医療情報ネットワーク (UMIN) .国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュー  
スレターNo.16:18、1993

日本のすべての医療機関を連携する情報システム.国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュースレターNo.18:2、1995

医療情報ネットワーク (UMIN) .国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュースレターNo.18:14、1995

医療情報ネットワーク (UMIN) .国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議ニュースレターNo.20:14、1996

#### 4 . その他

Ohe K, Sakurai T, Nagase T, Kaihara S. Current overview of the University Medical Information Network (UMIN)、 World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering、 1991

西村久雄、小村直之、片桐義博、岩本喜久生、古川裕之、市村藤雄、折井孝男、伊賀立二、櫻井恒太郎、開原成允.UMIN による薬剤情報の相互利用の検討.日本薬学会第 112 年会講演要旨集 p.265、1992

西村久雄、小村直之男、片桐義博、岩本喜久生、古川裕之、市村藤雄、折井孝男、伊賀立二、櫻井恒太郎、開原成允.UMIN による薬剤情報の相互利用の検討.第 2 回病院薬学会講演要旨集 p.118-119、1992

木内貴弘、大橋靖雄. 多施設臨床試験におけるデータ管理について. 第 21 回日本診療録管理学会、1995

安田浩二、安田公夫、吉岡史郎、杉山 正、片桐義博.Windows を利用した Desk Top Publishing による病院医薬品集の作成.第 12 回岐阜県病院協会医学会演題抄録集 p.107、1995

木内貴弘.WWW を用いた安全な電子メールシステム. WIDE November '96 研究会、1996

前田大蔵、旭満里子、松下良、谷田博子、設楽香織、林薫、古川裕之、中島恵美、市村藤雄、折井孝男、伊賀立二、開原成允.服薬指導マニュアルのデータベース ( UMIN2 ) 化.日本薬学会第 116 年会講演要旨集 p.244、1996

杉山 正、安田浩二、安田公夫、片桐義博.複数データベースの連携による医薬品情報の有効利用.第 6 回クリニカルファーマシーシンポジウム講演要旨集 p.222、1996

古川裕之、市村藤雄、土屋文人、折井孝男、伊賀立二.適正使用を支援する薬剤システムの標準化【1】処方オーダリングシステム.日本薬学会第 117 年会講演要旨集 p.255、1997

古川裕之、市村藤雄、土屋文人、折井孝男、伊賀立二.適正使用を支援する薬剤システムの標準化【2】添付文書情報の電子化.第 7 回病院薬学会年会講演要旨集 p.265、1997

古川裕之、市村藤雄.薬物相互作用検索システムの構築.北陸薬物療法モニタリング懇話会第 4 回臨床薬剤師のための講習会テキスト p.21-24、1997

木内貴弘.広域学術ネットワークによる研究支援 第 57 回日本癌学会総会、1998

古川裕之、市村藤雄、伊賀立二、櫻井恒太郎、木内貴弘、大江和彦.新 G C P に対応した治験薬情報の標準項目についての提案.日本薬学会第 118 年会講演要旨集 p.206、1998

古川裕之、市村藤雄、折井孝男、伊賀立二、土屋文人.適正使用を支援する薬剤システムの標準化【3】添付文書情報電子化に向けての提案.日本薬学会第 118 年会講演要旨集 p.176、1998

川井絵美、古川裕之、旭満里子、松下良、市村藤雄.新 G C P に基づいた治験薬のデータベース化における問題点の分析.日本薬学会第 118 年会講演要旨集 p.208、1998

杉山 正、安田浩二、山崎直也、片桐義博.薬剤部内 L A N による医薬品情報の共有と利用.第 7 回クリニカルファーマシーシンポジウム講演要旨集 p.131、1998



古川裕之、市村藤雄. 治験審査委員会 (IRB) からみた治験実施計画書の問題点. 日本病院薬剤師会「薬剤師治験コーディネーター要請研修会」講義要旨 p.41-52、1998

古川裕之. 治験実施計画書の視点 - 治験コーディネーターからの治験実施計画書の読み方、見方. 平成 10 年度国公立大学病院治験コーディネーター養成研修会、1999

木内貴弘 医療情報ネットワークの意義と役割. 第 25 回日本医学会総会、1999

## 資料 10 新聞・雑誌記事等

国立大学病院間の全国ネットワーク、4月から稼働へ. 日経コンピュータ No.193:30、1989

全国 42 国立大病院結ぶ医療情報網作りへ第一歩. 日経メディカル 2.10 号:48、1989

医療情報ネットワーク 4月から構築に着手. 薬業日報. 2/9、1989

大学病院間電算システム来月からスタート. 日本経済新聞. 3/4、1989

国立大医療情報ネットワーク. 毎日新聞. 5/1、1989

大学医療情報ネット始動. 日本経済新聞. 3/9、1990

医療情報ネットワークスタート. 毎日新聞. 3/9、1990

大学病院"オンライン". 読売新聞. 3/9、1990

国立 7 大学医療情報網. 東京新聞. 3/9、1990

大学医療情報ネット発足. 宮崎日日新聞. 3/9、1990

ユーミン(大学医療情報ネット)発足. 河北日報. 3/9、1990

大学医療情報を交換 - ネットワーク本格始動. 京都新聞. 3/9、1990

UMIN 先ず国立 7 大学病院結び始動. 日刊薬業. 3/12、1990

大学医療情報ネットワーク運営委員会 新たに 8 大学へ DB サービス. 日本工業新聞. 5/15、1990

UMIN(大学医療情報ネットワーク)活動を開始. 病院新聞 3/9. 1990

大学医療情報ネットワーク開所式の開催. 学内広報 (東京大学) No.855:7、 1990

3年以内に全国立大参加 - 大学病院間の医療情報ネット公私立にも拡大. 日本経済新聞. 4/8、  
1991

UMINは大学の枠を超えたネットづくりを. メディファックス 1268号、 1991

大学医療情報ネットワーク (UMIN). 医療とコンピュータ 3:568-572、 1991

データベース紹介(15). 旭川医科大学図書館月報 15(4):2、 1993

データベース紹介(16). 旭川医科大学図書館月報 15(5):2、 1993

データベース紹介(17). 旭川医科大学図書館月報 15(6):2、 1993

医療支援を実験. 日本経済新聞 11/3、 1994

医療情報「ユーミン」でいち早く. 富山新聞 2/28、 1995

「あすから、全国国立大病院ネットに富山医薬大が参加」 医療情報の交換瞬時に. 北日本  
新聞 2/28、 1995

インターネットの紹介. 兵庫県臨床衛生検査技師会情報センターニュース. No.24、 1995

インターネットの向こう側 - 「今、マルチメディアの現場で何が起きているか」. The A  
No.20:6、 1995

診療所のためのインターネット入門. 日経ヘルスケア 10月号:111、 1995

UMINからMEDLINE検索を. 名大病院かわらばん通巻9号:8、 1995

医療向けパソコン通信の実際. メディカル朝日 24(11):17、 1995

インターネットで得られる情報. 労働の科学 51(8):529、 1996

Health [ダイエット]. HomeMac No.3、 1996

「医師会でインターネット始めました」沖縄県に学ぶ WHY? HOW? WHAT? WHO?. 日経メディカル 7月臨時増刊号、 1996

広がる医療情報ネットワーク - 新天地目指して. 宮崎日日新聞 1/1、 1997

広がる医療情報ネットワーク - 脳病院が現実に. 山梨日日新聞 1/3、 1997

広がる医療情報ネットワーク - 全国の最新情報瞬時に. 秋田さきがけ 1/5、 1997

広がる医療情報ネットワーク - 列島結ぶ 2 大通信網. 北日本新聞 1/6、 1997

ナースのためのインターネット活用講座. 月刊ナーシング 17(1):18、 1997

「インターネットで医療は変わるか!？」. Fujisawa Satellite Journal 7月号、 1997

大学医療情報ネットワーク. 生活教育 1月号:24、 1997

インターネットの海へ. Pharm Tech Japan 12(2):215、 1997

大学病院医療ネット登録者 2 万人超す診療薬剤情報など満載. 読売新聞 11/18、 1998

医療におけるインターネット革命. 臨床医のためのネットワーク活用 (吉富製薬株式会社), 1999

医療情報システムとその利用. 臨床医 25(4):490-504, 1999

## 編集後記

編集委員が皆こうした記念誌の編集に不慣れであり、当初はどのようにしてよいのかわからず、他の機関の記念誌を集めては内容を調べる日々が続きました。いろいろなアイデアが出されましたが、結局祝辞・関係者の思い出等の寄稿原稿、及び10年間の出来事や人事・会議等の過去の記録資料で構成するオーソドックスな形の記念誌になりました。

寄稿原稿については、関係者の方々にご無理をお願いして何とか予定期間内に原稿を集めることができました。関係者のご協力に感謝いたします。

記録資料の方は膨大な過去の記録の整理及び記録に残っていない事項の関係者への照会に大きな時間を取られてしまい、大変な苦労をしました。記録というものは「ただ残しておく」だけでは駄目で、「整理して利用可能な形で残して」おかなければならず、それには「労力」がかかるということを実感しました。今後はこれを反省し、意識的に記録をキチンとした形で残す努力をしたいと考えました。時間切れになり、十分なできとはいえませんが、本記念誌の編集作業は現在までの10年間の記録の整理という意味で大きな意義があったと思っています。この場を借りて、記録資料の作成に多大なご協力をいただいた株式会社日立製作所・日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社の皆様に感謝いたします。

UMINは、国立大学病院を中心とした多くの方々のご支援・ご協力により運営されていますが、各大学病院のUMIN連絡担当者の方々には特にお世話をいただいています。この経緯もあり、3名のUMIN連絡担当者の方に寄稿原稿のご執筆をお願いしました。この欄を借りて簡単に執筆者のエピソードをご紹介させていただくことにします。

富山医科薬科大学の石田さん：同大学は、数ヶ月前までUMIN利用者が全国で東大の次に多い大学でした。現在は京大ですが、大学の規模を考えるとやはりUMINの普及度は東大に次ぐものといえると思います。同大学関係者のUMIN普及への努力は非常に大きなものでした。同大学のUMIN連絡担当者としてお骨折りいただいていたのが石田さんです。

福井医科大学の山下先生：高度な技術をお持ちで熱心に質問される連絡担当者の方です。下手な運用や設定をしているとすぐに指摘する要注意人物として、UMIN事務局で恐れられている、と同時に尊敬されている方です。

大分医科大学の島岡先生：「非常に重要な業務上の情報が見られない状況になって困っているのに対応が悪い」とお叱りを頂いた連絡担当者の方です。2年程前、業務上の重要な情報が掲載され始めた時期でした。それまでは、一般利用者からの苦情はよく来ていたのですが、「業務上」の問題で激しい苦情が来たのは初めてで、UMIN事務局一同恐れ入るともに感激したのを思い出します。

最後に、UMINの活動のご支援・ご協力いただいた文部省・大学関係者、その他の医学・医療関係者の皆様にこの場を借りて感謝の意を表したいと存じます。通常の場合、「文部省のご理解・ご支援」とは予算措置を意味し、しばしば儀礼的な使われ方をされますが、UMINの場合には文部省医学教育課による電子メール、文部省文書広報システム、各種データ収集システムの積極的な活用が各大学病院の事務官の利用を大きく促進する最も大きな原動力となった背景があり、予算措置以外の実質的な意味でも多大なご支援をいただけてまいりました。

これからもUMINの歴史は続きます。今後とも皆様のご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 大学病院医療情報ネットワーク - 10年の歩み

平成 11 年 6 月 8 日発行  
非売品

### 編集

大学病院医療情報ネットワーク 10 周年記念式典実行委員会  
10 周年記念誌編集委員会

櫻井恒太郎（代表者）、大江和彦、兼山精次、小室慎一、米谷光暁、  
永井義美、木内貴弘

### 編集補助

鎌田智子、渡里香、中間恭子

### 発行

東京大学医学部附属病院  
代表者 武谷 雄二  
〒113-8655 東京都文京区本郷 7 - 3 - 1

### 印刷・製本

小宮山印刷株式会社